



挑む、つながる。 邂逅・自律・創造。

生徒のみなさんへ

● シェイクアウト訓練を振り返って

8月26日にシェイクアウト訓練を実施しました。訓練で実践した「低く、頭を守り、動かない」という一連の行動は、いざというときに身体が勝手に動くレベルまで、日頃から叩き込んでおく必要があります。なぜなら、巨大地震は私たちの予告なしに、突然日常を奪っていくからです。

今年7月28日、熊本県で最大震度7を観測する大きな地震が発生しました。2016年の熊本地震から10年が経ったところでしたが、再び激しい揺れに見舞われ、甚大な被害が出ています。また、地震だけでなく、最近では全国各地で記録的な豪雨による洪水や土砂災害が頻発し、多くの人の暮らしが脅かされています。

これらの災害が私たちに突きつけている現実、「自然の脅威は一度経験したからといって免れるものではない」ということ、そして「想定外の事象が起きたときに自ら判断し行動する力が必要である」ということです。地震も大雨も、私たちが「いつ」「どこで」直面するかは分かりません。

中学生の皆さんに期待されているのは、単に「守られる存在」でいることではありません。登下校中や自宅で一人でいるときに大きな揺れや急な大雨・増水に遭遇したとき、誰かの指示を待つのではなく、その場の状況から即座に命を守る最適な行動を自分で判断しなければなりません。そして災害が起きた後、避難所などで大人たちと協力し、地域を支える貴重な「力」になれるのも皆さんです。

これまで行ってきた避難訓練を「ただの学校行事」で終わらせず、普段通る道の危険箇所（崩れそうな壁、急増水する河川や用水路など）や、家族との連絡手段、避難場所の再確認を必ず行いましょう。

「自分の命を自分で守る」その確かな判断力と行動力を、日頃の生活からしっかりと養っていきましょう。

● 「定期考査」を振り返って

本日で第2回定期考査が終了しました。まずは、今日まで努力を重ねてきた自分自身をしっかりと労ってください。

テストが返ってきたとき、一喜一憂すること自体は自然なことです。しかし、そこで立ち止まるのではなく、「この結果から何学び、明日からどう動くか」を考えるきっかけにしてほしいと思います。

- 成果が出た人 → どのような準備や工夫が結果に結びついたのか「成功のプロセス」を言語化してみましょう。
- 悔しさが残った人 → どこでつまづいたのか、計画に無理はなかったかを振り返り、小さな課題解決から始めてみましょう。

失敗やミスは、次に成功するための大切なヒントです。大切なのは、**結果そのものよりも「結果を受けてどう行動を変えるか」という前向きな姿勢**です。結果を冷静に受け止め、次の行動へとつなげる…その繰り返しの中で、みなさんが更に大きく成長していくことを期待しています。

保護者の皆様へ

テスト期間中、ご家庭でもお子様の体調管理や学習環境のサポートなど、温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。来週よりテスト答案が返却されます。どうしても点数や順位といった「結果」に目が向きがちですが、ぜひご家庭では、テストに至るまでの「過程（努力）」に光を当てていただければ幸いです。成果も課題も次への糧とし、子どもたちが前向きに次の一步を踏み出せるよう、ご家庭でも温かいお声かけをお願いいたします。

